

リターナブル方式による 1L化粧瓶入りウーロン茶の 取り組みについて

能勢酒造株式会社
子安丈士

主な沿革

- 1712年(正徳2年) 酒造業創業
- 1943年(昭和23年) 能勢酒造(株) 設立
- 1969年(昭和44年) 清涼飲料製造開始
- 1980年(昭和55年) 炭酸飲料製造開始

- 1992年（平成4年） 『能勢山水』 発売開始。
- 2003年（平成15年） 『能勢山水ウーロン茶』
発売開始
- 2008年（平成20年） 容器3R推進環境大臣賞

製品部門 最優秀賞 受賞

商品



プラスチックケースと瓶は再利用

『能勢山水ウーロン茶』 発売当時の当社の状況

- 地元ゴミ焼却場の問題による風評被害から、売り上げが低迷。
- アルコール規制強化により、飲食店の売り上げが低迷。

新たな商品の開発にむけて

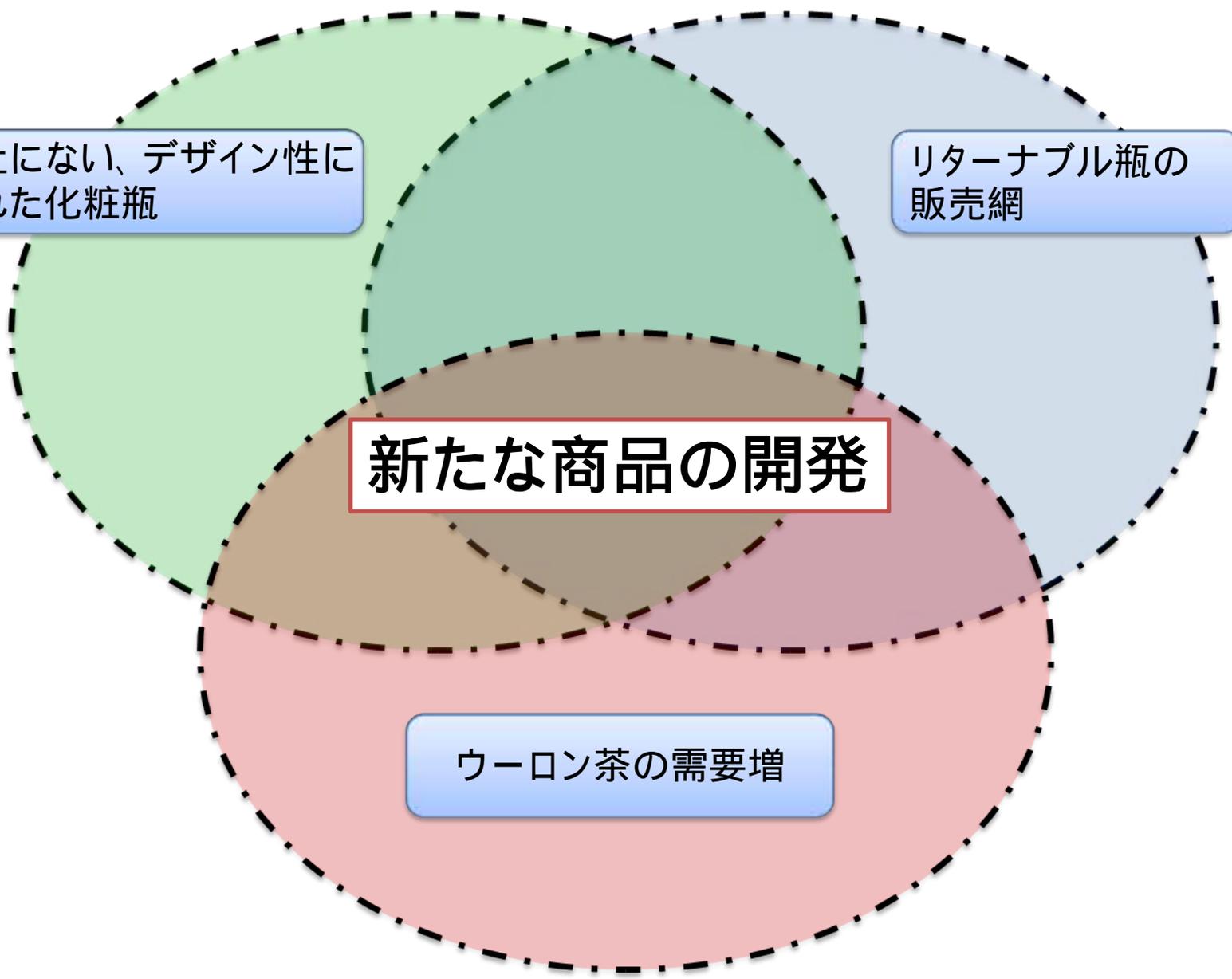
- 環境に配慮した、リターナブル方式の採用。
- 他社にないデザイン性に優れた『能勢山水』の瓶を活用。
- 飲食店では、飲酒運転の規制強化に伴いウーロン茶の需要が増加している。

他社にない、デザイン性に優れた化粧瓶

リターナブル瓶の販売網

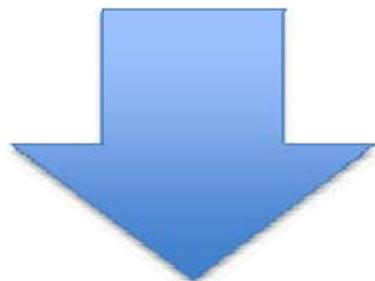
新たな商品の開発

ウーロン茶の需要増



会社の特徴を生かした新しい商品

- 1L化粧瓶にウーロン茶をボトルリング
- リターナブル方式の採用



飲食店様に向け、2Lペットボトルからの切り替えを提案

能勢山水ウーロン茶について

- リターナブル方式による環境性と低価格。
- テーブルを華やかにする優れたデザイン性。
- 飲食店において、団体客に対し、大容量での提供による手間の簡素化。



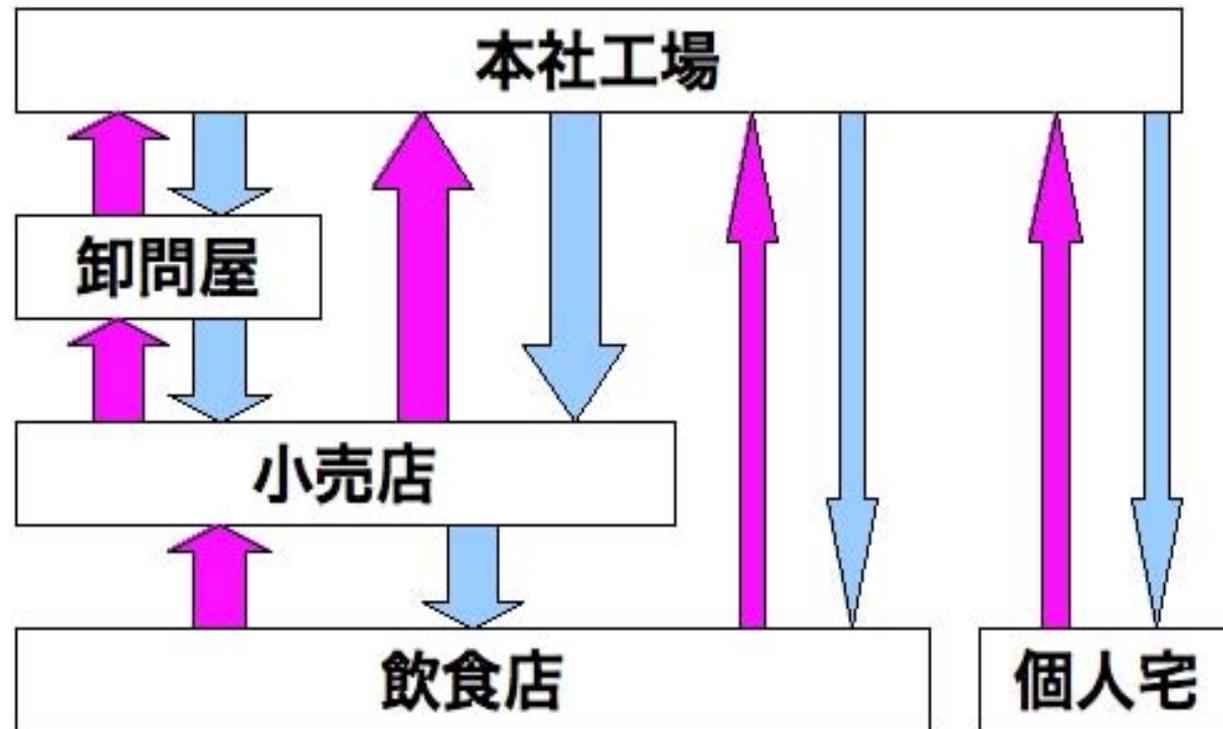
旅館・大手和食チェーン店等に導入

商品



プラスチックケースと瓶は再利用

リターナブル瓶の流通経路



※ビール瓶同様の流通経路で瓶の回収を行っている。

流通地域



大阪・京都・神戸まで約1時間

卸問屋様の協力で関西一円での
流通網を確率

配送



自社瓶を中心とした高い回収能力

お得意様との協力関係



高いデザイン性をもって
おり、宴席等をより華や
かに演出し、需要を喚起。

【瓶のデザイン】
満田慧峰氏
(日本画家)

撮影協力: 宮本屋(京都府亀岡市)

実績

2008年9月期

販売量 約12,200ケース(146,400本)

削減実績(2Lペットボトルとして)

ダンボール 12,200枚(6,100kg)

ペットボトル 73,200本(4977.6kg)

拡売へのポイント

- オンテーブルに優れた高いデザイン性
- 確立された瓶の回収システム
- 大手チェーン店を含めたお客様の御協力